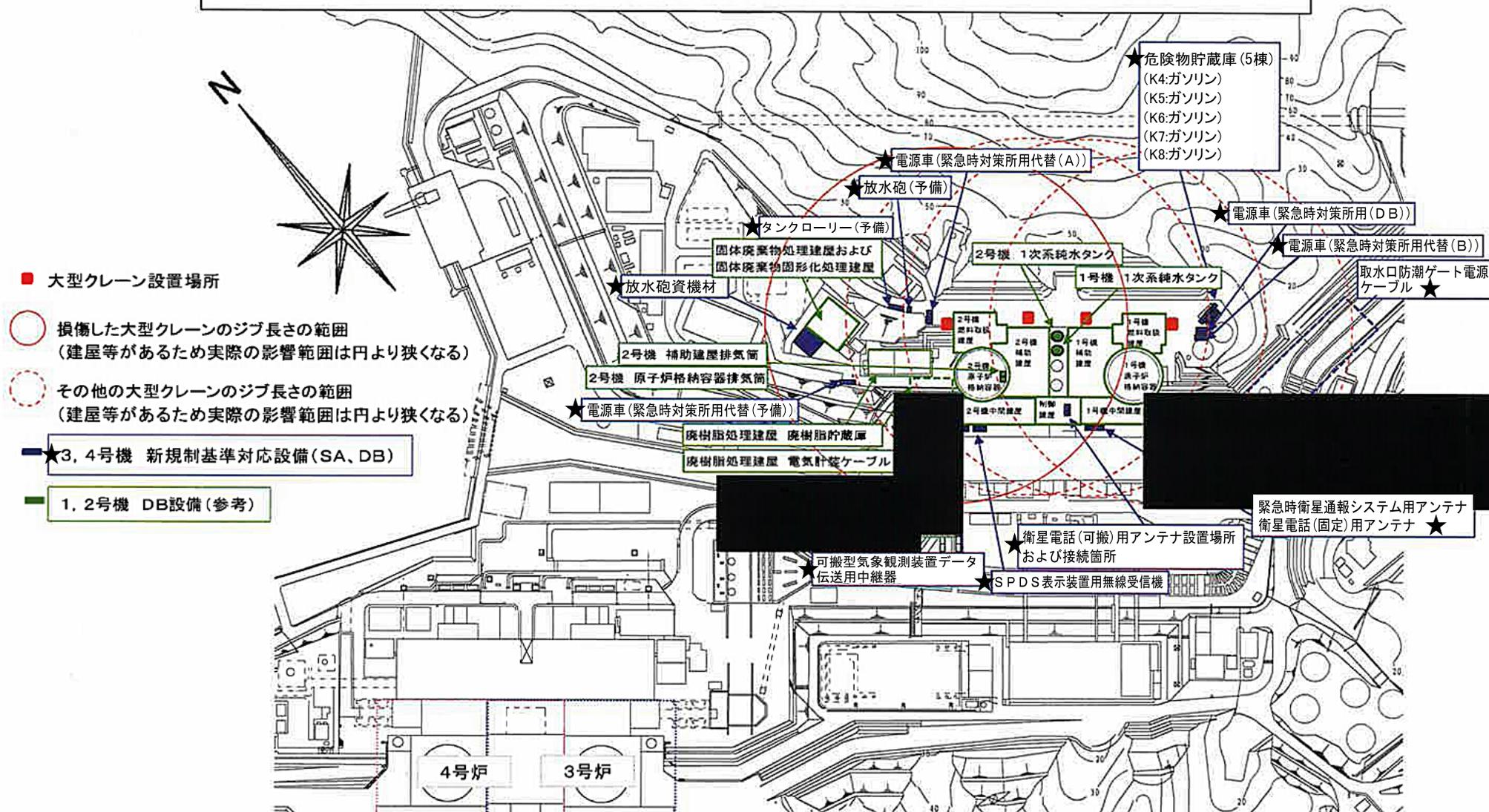


(3・4号機の設定に★を追加)

### 当該工事のクレーンが転倒したと想定した場合の3, 4号機への影響



3, 4号機 重大事故等対処設備への影響確認 添付資料2 4 (2/3)、p.158 (注: 衝突可能性なしの2項目は割愛)

大型クレーンのジブ長さ範囲内にある設備	分類	衝突可能性	クレーンが転倒した場合の対応手段	衝突した場合の保安規定上の扱い
① タンクローリー (予備)	可搬 SA	○	予備機であり、他の2台により必要数を満たすため重大事故等対応は可能である。 なお、当該設備は竜巻に対する位置的分散に期待している予備機であることを勘案し、あらかじめ代替設備(当社他サイトの同等品)を確保する手段を確立する。(輸送時間約0.5日)	保安規定上 LCO が設定されている設備。 要求モード: 全モード 復旧までの AOT モード 1~4: 48h モード 5 から外: 速やかに
② 放水砲 (予備)	可搬 SA	○	予備機であり、他の2台により必要数を満たすため重大事故等対応は可能である。 なお、当該設備は竜巻に対する位置的分散に期待している予備機であることを勘案し、あらかじめ代替設備(当社他サイトの同等品)を確保する手段を確立する。(輸送時間約0.5日)	保安規定上 LCO が設定されている設備。 要求モード: 全モード 復旧までの AOT モード 1~4: 10日 モード 5 から外: 速やかに
③ 電源車 (緊急時対策所用代替 (予備)) (ケーブル含む) 電源車 (緊急時対策所用代替 (A)) (ケーブル含む) 電源車 (緊急時対策所用代替 (B)) (ケーブル含む) 電源車 (緊急時対策所用代替 (DB)) (ケーブル含む)	可搬 SA 可搬 SA 可搬 SA DB	○ ○ ○ ○	4 台中必要数は 1 台であるため、同時に損傷することはなく健全な電源車にて対応可能。なお、損傷した電源車については、早急に復旧を行う。	予備であり LCO は設定されていない。  保安規定上の影響なし 保安規定上の影響なし。 保安規定上の影響なし
④ 危険物貯蔵庫	可搬 SA	○	3, 4号機背面にも分散配置されているため、当該の5基全てが損傷したとしても初動(3日間程度)の重大事故対応は可能。発電所内にガソリンを供給できるような調達手段を確立しておく。	保安規定上、貯蔵するガソリンに LCO が設定されている 要求モード: 全モード 復旧までの AOT モード 1~4: 48h モード 5 から外: 速やかに
⑤ 衛星電話(可機)用アンテナ	可搬 SA	○ (接続端子のみ)	早期に機能復旧が可能となるよう、念のためケーブルを確保する。(アンテナ本体は可搬設備であり通常時は建屋内にあるため直接影響を受けないが、屋外の壁にある接続端子が損傷した場合、ケーブルによる復旧が必要となる。)	保安規定上 LCO が設定されている設備。 要求モード: 全モード 復旧までの AOT モード 1~4: 10日 モード 5 から外: 速やかに
⑥ 衛星電話 (固定)用アンテナ (ケーブル含む)	常設 SA	○	早期に機能復旧が可能となるよう、念のためアンテナおよびケーブルを確保する。	保安規定上 LCO が設定されている設備。 要求モード: 全モード 復旧までの AOT モード 1~4: 10日 モード 5 から外: 速やかに
⑦ 緊急時衛星通報システム用アンテナ (ケーブル含む)	常設 SA	○	早期に機能復旧が可能となるよう、念のためアンテナおよびケーブルを確保する。	保安規定上 LCO が設定されている設備。 要求モード: 全モード 復旧までの AOT モード 1~4: 10日 モード 5 から外: 速やかに
⑧ 可機型気象観測装置データ伝送用中継器 (ケーブル含む)	可搬 SA	○ (ケーブルのみ)	早期に機能復旧が可能となるよう、念のためケーブルを確保する。	保安規定上 LCO が設定されている設備。 要求モード: 全モード 復旧までの AOT 全モード: 速やかに
⑨ SPDS 表示装置用無線受信機	常設 SA	○ (ケーブルのみ)	有線系にて機能を担保している間、計画的に無線系ケーブルの復旧を実施する	保安規定上の影響なし。 (無線系または有線系どちらか1系統要求)
⑩ 屋外アクセスルートへの影響	SA	○	1, 2号機背面道路にジブが転倒した場合には、瓦礫撤去用に配備されているブルドーザーにて道幅3m以上のアクセスルートを確認する。また、必要に応じジブの解体(分割)を実施できるような手段をあらかじめ構築しておく	LCO は設定されていないが、保安規定添付3(重大事故等および大規模損壊対応に係る実施基準)において屋外アクセスルート確保の要求事項あり

引用者メモ: a. 重大事故とクレーンの倒壊が重なった場合を想定していること—要確認。

- b. ①、②において予備機は重大事故だけで必要なのではないか。
- c. ③において、電源車は4台ともクレーン倒壊範囲内にあるのですべて使えないこともあり得るのでは。
- d. ①、②、④、⑥、⑦、⑧、⑩には今後用意すべき対策が書かれているが、運転開始前にすでに準備されているか。